

# NEWS!

Vol.37-4  
No.190  
平成30年10月号  
編集・発行  
松浦機械製作所

## 5軸制御立形マシニングセンタ「MAM72-70V」販売開始

マツウラは、5軸制御立形マシニングセンタ「**MAM72-70V**」の販売を開始しました。

5軸制御立形マシニングセンタ**MAM72**シリーズ(1991年以来、出荷実績1500台以上)は、ワンチャッキング5軸加工による工程集約・高精度複雑加工を実現しつつ、【変種変量生産】・【長時間無人運転】に対応した機械として全世界のあらゆる産業(航空機・自動車・医療機器分野など)で実績を築いてきました。今回販売を開始する**MAM72-70V**は、従来機に比べ最大工作物寸法を拡大した上で、性能を徹底的に見直し生産性・作業性を高めることで、より高いお客様ニーズを満たしています。



▲MAM72-70V

**MAM72-70V**の最大工作物寸法D700mm x H500mm / 工作物許容質量500kgは、従来機に比べ、径/高さ方向:11%UP、質量:43%UP、体積比:38%UPとなり、幅広いワークへの対応を実現しました。また、新開発の4/5軸テーブルは、4軸(傾斜軸)に新採用のローラーギア駆動・5軸(回転軸)にダイレクトドライブモータ駆動とすることで早送り速度50min<sup>-1</sup>(4軸)/100min<sup>-1</sup>(5軸)を実現し、高速と高精度の両立を可能としました。

**MAM72-70V**は11月1日(木)から開催される第29回日本国際工作機械見本市(JIMTOF2018)に出展します。詳細は6ページに掲載してあります。

## 日本のヘソ 福井 No.188



福井は日本のドマン中「日本のヘソ福井」第188回目は「世界初の無線電話を開発した横山英太郎」の話です。

1912年(明治45年)に日本で世界初の無線電話機が開発されました。開発者は、通信省電気試験所の主任技師の鳥潟右一、同僚技師の横山英太郎、係長の北村政治郎で、三人の頭文字を取ってTYK式無線電話機と呼ばれました。開発者の横山英太郎は、1883年(明治16年)に福井県坂井市三国町で生まれ、東京帝国大学を1908年(明治41年)に卒業して、電

気試験所に入所、無線電話機の開発に従事しました。

1895年(明治28年)にイタリア人・マルコーニによるトンツー方式の“無線電信”が開発され、各国で“無線電話機”の開発が試みられましたが、実用化できたのはTYK式が世界初でした。1914年(大正3年)に三重県鳥羽—答志島—神島間の連絡用として世界で実用化に成功して、船舶通過の連絡を執り行う実験を開始。1916年(大正5年)に世界初の無線電話による公衆電話業務を開始しました。

横山英太郎は、電波物理研究所所長などを歴任し、1966年(昭和41年)82歳で亡くなりました。三国港のある木造民家の横に「横山英太郎生誕の地」との石碑があります。

# ユーザー No.175 を訪ねて

今回のユーザーを訪ねては、JR北陸本線・鯖江駅から車で西に10分の距離にある有限会社上田精工取材いたしました。鯖江市内の住宅街の細い路地に入り、周りを全て住宅に囲まれた所に会社があります。取材には北崎栄社長に対応頂きました。

同社は昭和47年設立で、精密機械部品製作を行っています。鯖江市はメガネ生産が有名で、多くの会社がメガネの生産に携わっていますが、同社は近隣の大手電機メーカー等の部品製作を主体にして業務を行ってきました。現在では、多数のマシニングセンタ、NC旋盤、研磨機、ワイヤー放電加工機を11人で駆使して、関東、東海の専用機メーカーの精密部品製作を行っています。



▲会社工場

## 社員から社長就任へ

創業者は上田賢治氏で、北崎社長は2代目ですが、上田氏とは血縁関係はありません。北崎社長は地元の工業高校を卒業して同社に入社して社員として働いていました。

「平成19年に社長に就任しました。社長就任5年前に創業者から“お前やってくれ”と言われました。社長になれば、この会社で働く社員と家族の生活が私の肩に乗るわけですから、“嫌です”と返答しました。それから3年が経過して再度創業者より“意思は変わっていないか”と聞かれ、“意思は変わらず、出来ません”と返答しました。すると創業者は“私も60歳で引退する意思は変わらないので、廃業する”と言われました。当時会社のメンバーと常に難しい加工に取り組んでいて、モノづくりの楽しみを体感していました。廃業して他社に移っても仕事は出来るが、このメンバーと一緒にやりたいとの強い気持ちがあり、“ちょっと待って下さい。家族と相談して返答します”と答えました。両親、妻ともに社長就任を応援すると賛同してくれ、会社名も引き継いで平成19年に社員から社長に就任しました」と社長就任の経緯を語る北崎社長。

## 住宅街にある工場で独自技術を 有限会社上田精工

### モーター巻線機専用精密部品への進出

「平成15年ごろに、当社の仕事先であった福井県内の大手電機メーカーが地元から撤退するとの話がありました。創業者と私で取引先を拡大するために、各地へ営業活動を行いました。その時に現在主力であるモーター巻線機専用機を作るメーカーとの出会いがありました。最初は図面を頂き、無償で製作して納品もしました。徐々に技術力が認められ少しずつ仕事量が増えて、現在では当社の主力ユーザーになっています。先方からは“2倍やってくれるなら、2倍の仕事を出します。3倍でもいいですよ”とされています。しかし、難しい加工なので、そう簡単には生産量は上がりません。またある時ミスがあり謝りに先方へ伺うと“来なくても良いよ。それより1個でも早くモノを作って欲しい”と言われる程、信頼を得るまでになっています」と北崎社長。

### 立形マシニングセンタMC-600VFを設備

「当社では、様々なメーカーの工作機械を設備していましたが、マツウラの機械はありませんでした。高精度の部品を安定して製造するには、機械の剛性などの造りこみがしっかりした機械が必要と考え、平成8年に製作された中古機械のMC-600VFを平成23年に設備しました。15年間使われた古い機械でしたが、社内にある他社メーカーの機械と比べても安定した加工が行え、マツウラのモノづくり力を体感しました」と北崎社長。

### 5軸立形マシニングセンタMX-520を設備

「MC-660VFを設備して、次はマツウラの5軸加工機を設備する準備として資金確保を進めていました。その時政府のものづくり補助金制度を知り応募しました。平成24年度『ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援



▲MX-520の前で、右より北崎社長、廣田拓也工場長、川崎康弘工場長補佐、土谷良恵品質管理長

## 駆使して精密機械部品を製造する

補助金』に『環境問題推進プロジェクト』で採択され、平成25年に**MX-520**を設備しました。廣田工場長が担当し5軸割出加工は問題なく加工できるまでになっており、現在同時5軸加工にも挑戦しています。**MX-520**の導入により生産能力が向上したので、2台の機械が不要になりました。また5軸加工機を設備したので、3次元測定器が必要になると思い、取引先に打診したところ、“当社の3次元測定器で測定したデータを送るので、その設備投資はしなくていいですよ。生産に注力して下さい”と言われました。3次元計測器を設備すると、計測する人を雇わないといけませんし、作業工数も取られます。現在まで**MX-520**で加工した複雑な形状でも加工不良は出ていないので生産に集中できて助かっています」と北崎社長。



▲MC-600VF

### 図面に書けない加工ノウハウ

「ある取引先がアメリカに工場を進出したとき、今まで当社で加工していた部品をアメリカの企業に当社のサンプル品も付けて委託しました。アメリカで作られた部品を取り付けて専用機を稼動すると不良品しか出来ません。それでその部品を当社に持ち込み修正をしたところ、見事に良品が出来たことがあります。しかし、取引先の担当者には、その理由が分かりません。当社では長年の経験で、その部品が機械の中でどう使われ、どう動くかを理解しています。図面に書けないノウハウを当社は培ってきました。このように設計者がその部品にどういう動きをさせたいのかまで汲み取って部品を作っています」と北崎社長。

### 難しい加工に喜んで挑む企業文化

「当社では、簡単な部品を現場に出すと嫌がられます。経営的には数量もあり利益確保できるのですが、難しくて挑戦的な部品を現場の担当者は喜びます。失敗すれば材料費がムダになり赤字となりますが、失敗の経験が当社にノウハウとして蓄積されます。それ故“失敗を恐れるな”と

## 有限会社上田精工 概要

会 社 工 場 〒916-0057  
 福井県鯖江市有定町3丁目4-21  
 TEL 0778-51-6834 FAX 0778-52-0520

役 員 代表取締役 北崎 栄  
 設 立 昭和47年8月  
 従 業 員 11名  
 事 業 内 容 精密機械加工部品製作

社員には言っています。部品を作る上で、設計者の要求を考えることは、私が考えるモノづくりの楽しみです。設計者と意思が通じ、“それが分かってくれた”と感激してくれます。納品した部品を取り付けて専用機で良品が出来ると、設計者も嬉しく、また作った私達も嬉しさを共有できます。その積み重ねが当社の企業文化を育てています。工場ではプログラムを作る専用の担当者も部屋もありません。各機械の前にPCを置いて、その中にインストールされたCAD/CAMでプログラムを担当者自ら作って責任を持って加工しています」と北崎社長。

### 加工した部品が営業マン

「世間では、地球温暖化などで環境問題が大きく取り上げられていますが、取引先も環境問題解決関連の業務のために業績を伸ばしています。それに伴い当社の仕事量も増えています。営業活動しなくても、納品した部品が次の仕事を取ってくれるので、当社はモノづくりに集中できます。但し、人材不足が悩みです。当社では任されて仕事に取り組みるので3年経過するとモノづくりの楽しさを実感出来ませんが、そこに到達する前に退社する場合があります。5軸加工機の**MX-330**の設備を考えていますが、担当する人材がいないので足踏み状態です」と北崎社長。



▲MX-520で5軸加工したサンプル

\*\*\*\*\*

今回の取材で初めて訪問しましたが、住宅街の細い路地に工場があり驚きました。また業務内容をお聞きすると、最先端の専用機に装備されている部品を製造していることに再度驚きました。更に、“もの言わぬ、モノがものを言う、モノづくり”という言葉がありますが、同社のモノづくりを通じて取引先との深い信頼を培っていることに驚いた取材でした。

# JIMTOF2018

## 第29回日本国際工作機械見本市 統一テーマ“未来へつなぐ、技術の大樹”



期 間：平成30年11月1日(木)～11月6日(火)6日間  
会場時間：9：00～17：00  
開催会場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）  
マツウラブース：東3ホール E3016  
テ ー マ：未来を想像/創造するイノベーション

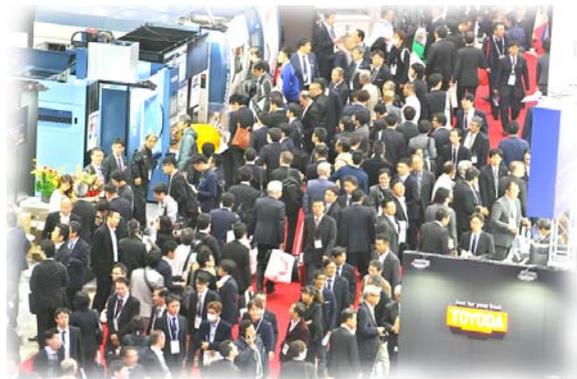
### JIMTOF2018の概要

アジア最大級の工作機械見本市「JIMTOF2018（第29回日本国際工作機械見本市）（主催：一般社団法人日本工作機械工業会/株式会社東京ビッグサイト）が11月1日(木)より11月6日(火)までの6日間、東京ビッグサイトで開催されます。今回東京ビッグサイト全館を利用し、会場面積約10万㎡、出展規模は838社・5,531小間となり、前回JIMTOF2016の実績を上回り過去最大規模の展示会となります。

キービジュアルは、半世紀を超えて開催するJIMTOFを、年月を重ねて成長を続ける樹木に見立て、最先端・最新技術を発信するシンボルとして描かれています。統一テーマ「未来へつなぐ、技術の大樹」には、未来を目指して更なる成長を続けるJIMTOFを展示会で体感して頂きたいとの願いを込めています。

展示のみでなく、様々な講演会や企画展示も行われます。講演会では、開催初日（11月1日）に、日産自動車株式会社取締役副社長の坂本秀行氏が「EVの性能向上に求められる技術革新」と題した記念講演があります。その他にも様々な講演が準備されています。

特別展示として、「未来に勝つために。～革新と進化を続けるモータースポーツのモノづくり～」と題して、モータースポーツの現場で活躍している、Honda製のレーシングマシンとエンジンの特別展示が実施されます。



▲前回JIMTOF2016、マツウラブース前の賑わい

### マツウラが提案するイノベーション

この展示会では『未来を想像/創造するイノベーション』をテーマに、「世界初公開の2台を含む4台の5軸マシンングセンタ」と新しいモノづくり「ハイブリッド金属3Dプリンタ」及び「最新CAD/CAMシステム」を実演致します。

4台の5軸マシンングセンタでは、5軸加工とマルチパレットにより、変種変量生産と長時間無人運転を提案致します。新機種の「**MAM72-70V**」は、全機能をレベルアップした次世代機であり、同じく新機種の「**MX-Series**」は自動化ニーズに応えるシンプルオートメーションを実現した5軸エントリーマシンです。5軸制御立形マシンングセンタ「**MX-330 PC10**」は小型ワークに強みを発揮し、使いやすさと自動化機能を装備しています。また5軸複合マシンングセンタ「**CUBLEX-35 PC32**」は、更なる長時間無人運転と高精度複合加工を実現した究極の“工程集約”マシンです。

世界最大クラスのハイブリッド金属3Dプリンタ「**LUMEX Avance-60**」では、3次元冷却水管、軽量化、複雑形状など、従来不可能とされてきたモノづくりを実現し、モノづくりの構図を変える提案を致します。

マツウラが提案する、2.5・3次元ソリッドCAD/CAMシステム**GibbsCAM**の最新版V12、**PowerMILL**、**hyperMILL**、**LUMEX CAM**（**LUMEX**専用に関開発されたCAM）などのCAD/CAMシステムの実演を行います。また、サンプル展示など、マツウラの最新ソリューションをご覧頂けますので、是非マツウラブースへお立ち寄り頂きますようお願い致します。

## 出展機仕様

### ■ 5軸制御立形マシニングセンタ **NEW!**

#### **MAM72-70V**

移動量 (X/Y/Z) 1200/720/710mm  
 最大ワークサイズ D700×H500mm  
 主軸回転速度 BT40 : 20,000 min<sup>-1</sup>  
 工具収容本数 314本  
 パレット数 2枚



▲MAM72-70V

### ■ 5軸制御立形マシニングセンタ **NEW!**

#### **MX series**

自動化ニーズに応えるシンプルオートメーションを実現した5軸エンターマシン。



▲MX series

### ■ 5軸制御立形マシニングセンタ

#### **MX-330 PC10**

移動量 (X/Y/Z) 435/465/560mm  
 最大ワークサイズ Φ330×H300mm  
 工作物許容質量 80kg  
 主軸回転速度 BT40 : 15,000 min<sup>-1</sup>  
 工具収容本数 90本  
 パレット数 10枚



▲MX-330 PC10

### ■ 5軸複合マシニングセンタ

#### **CUBLEX-35 PC32**

移動量 (X/Y/Z) 550/440/580mm  
 最大ワークサイズ Φ350×H315mm  
 主軸回転速度 HSK-A63W : 20,000 min<sup>-1</sup>  
 工具収容本数 320本  
 パレット数 32枚



▲CUBLEX-35 PC32

### ■ ハイブリッド金属3Dプリンタ

#### **LUMEX Avance-60**

移動量 (X/Y/Z) 610/610/100mm  
 最大ワークサイズ W600/D600/H500mm  
 レーザ発振器 Ybファイバーレーザー  
 レーザ出力 1kW  
 主軸回転速度 45,000 min<sup>-1</sup>  
 工具収容本数 20本



▲LUMEX Avance-60

### ■ CAD/CAM

#### **GibbsCAM Version12**

2次元から同時加工まで幅広く対応するCAMシステムです。進化した新バージョン12を展示します。



#### **LUMEX CAM**

造形機メーカーから生まれた機械の性能をフルに引き出せるオリジナルCAMシステムです。シンプルオペレーションで金型から部品まで造形・切削を一括で実現します。



## 【新商品発表】5軸制御立形マシニングセンタ「MAM72-70V」

マツウラは、5軸制御立形マシニングセンタに多面パレットを付加した**MAM72**シリーズを長年販売し、長時間無人運転の技術を開発してきました。今回立形5軸機では当社最大クラスの**MAM72-70V**の販売を開始し、その技術を紹介します。

**MAM72-70V**の最大工作物寸法D700mm x H500mm/工作物許容質量500kgは、従来機に比べ大きく(径/高さ方向:11%UP、質量:43%UP、体積比:38%UP)なり、幅広いワークへの対応を実現しています。また、機械構造を見直すことで、機械前面(オイルパン端面)からパレット中心まで620mm/主軸中心まで90mmとするなど接近性を改善し、段取り操作の作業性を充分確保しています。

ATC/APCには、拡張性の高いオプションを用意し、**MAM72**シリーズの特長である【変種変量生産】・【長時間無人運転】を可能としています。

また、昨今の流れであるIoTへの対応として、各種センシングによるデータ集積が標準で可能となっており、プリアンティブメンテナンスや機械の見える化による機械稼働率向上などを実現する為の準備がされています。



▲MAM72-70V

### 【特長】

- 最大工作物寸法 : D700mm x H500mm (従来機: D630mm x H450mm)
- 工作物許容質量 : 500kg (従来機: 350kg)
- MAXIA** スピンドル (重切削から高速切削まで対応)
  - ・ 15,000 min<sup>-1</sup>/ 150Nm (標準)
  - ・ 15,000 min<sup>-1</sup>/ 350Nm (オプション) 高トルク仕様
  - ・ 20,000 min<sup>-1</sup>/ 108.4Nm (オプション) 高速仕様
- 標準工具本数の増加 : 90本工具 (従来機: 51本工具)
- 専用設計の高速・高精度・高剛性ビルトイン4/5軸搭載
  - ・ 早送り速 : 50min<sup>-1</sup> (4軸) / 100min<sup>-1</sup> (5軸)
  - ・ 駆動方式 : ローラーギア駆動 (新採用) / ダイレクトドライブモータ駆動
  - ・ スケール標準装備(ロータリーインダクトシン)
- 拡張性(多彩なオプション)
  - ・ 新開発マトリクスマガジン : 130 ~ 330本 (330本ベース)  
: 370 ~ 530本 (530本ベース)
  - ・ マルチパレットシステム : フロアパレットシステム (PC6)  
: タワーパレットシステム (PC18)

### 【主な仕様】 MAM72シリーズ (パレットチェンジャ付仕様)

項目		MAM72-35V	MAM72-70V	MAM72-100H
移動量(X/Y/Z軸)	mm	550/440/580	1200/720/710	1,050/920/960
移動量(4/5軸)	deg	-125 ~ +65/360	-125 ~ +30/360	-120 ~ +30/360
早送り速度(X/Y/Z軸)	m/min	60/60/60	60/60/60	60/60/50
早送り速度(4/5軸)	min <sup>-1</sup>	50/100	50/100	50/75
主軸回転速度	min <sup>-1</sup>	12,000(BT40)	15,000(BT40)	12,000(BT50)
主軸パワー	kW	7.5/11	15/22	26/30
最大ワークサイズ	mm	D350 x H315	D700 x H500	D1020 x H770
工作物許容質量	kg	60	500	780

## 2018年夏季インターンシップ実施 ～モノづくりの醍醐味を体験～

マツウラでは、モノづくりに興味のある学生やグローバルに活躍したいという学生向けに工作機械に携わる醍醐味やマツウラのモノづくりを体験するインターンシップを実施しました。本年からは新たに1Dayコースも新設し、多くの学生の皆さんにマツウラのモノづくりについて触れて頂く機会を増やしました。

インターンシップの概要と参加頂いた学生の感想を一部ご紹介します。

- **技術職コース** 8月20日(月)～8月24日(金)の5日間  
技術本部にて機械設計、電気ソフト設計、アプリケーションの研修  
・「インターンシップを通じて得た職業意識と将来設計」のレポート作成



▲技術職インターンシップ参加学生と若手社員

- **営業職コース** 8月27日(月)～8月29日(水)の3日間  
・福井県内のマツウラユーザー2社を訪問し、インタビューを実施  
・「工作機械の営業職にとって重要な力は何か」のグループワーク



▲営業職インターンシップ参加学生と若手社員

- **1Dayコース(2018年新規)** 8月及び9月中の1日間、全5回実施  
・若手社員との懇談会  
・就職活動や社会人になって役立つビジネス能力講座

### 参加学生の声

- ・社員皆さんの技術に対する熱意、こだわりが強く伝わってきました。また、実際に働いていらっしゃる方の生の声を聞くことができ、将来の自分の働くイメージを想像できました。
- ・工作機械業界をより盛り上げていく存在である**LUMEX**を筆頭に、マシニングセンタなど一流の機械を多く見ることができ、非常に満足度の高いインターンシップでした。
- ・ビジネス能力講座から、自分自身に足りない能力に気付くことができ、良かったと思います。今回学んだことを今後の就職活動や社会人になってからも活かしていきたいと思います。

## シングルorダブル



社長 松浦 勝俊

この秋、半世紀ぶりに福井県にて開催され、明治150年記念、平成天皇皇后両陛下のご臨席を賜る最後の国民体育大会となる「福井しあわせ元気国体」が実施されています。

福井県と言えば、今更の感がありますが、「越山若水」と表され越前の緑の山並みと、若狭の清らかな水、自然豊か土地柄や素朴さを残す県民性など、愛すべき点が一杯あるのが我が郷土です。

幕末から明治にかけて、松平春嶽、橋本左内、由利公正などをはじめとした郷土にゆかりのある才人を多く輩出しております。小中学生の学力検査で福井県は毎回全国トップを秋田県や富山県と争っていますが、こんなところにも伝統が息づいているのかも知れません。毎年発表されるしあわせ度ランキングでも絶えず上位に名を連ねるのも福井県です。でも、幸せかどうかは個人の価値観に依るものなのであくまで参考ランキングと言え

## 福井しあわせ元気国体

ますが、暮らし易くて、のんびりした県であることは間違いないと実感しております。

さて今回の国体のネーミング、こういう県ですので何からしいなあって、住んでる我々には全く違和感のないじっくりくるものではないかと思えます。ただし、どうしても福井ゆかりのものは素朴過ぎるのでしょうか？気のいい人は多いのですが、他人を押しつけるような目立つ人はあまり出ない地域性。素晴らしい人材を多く輩出した福井藩も明治維新では、わき役と言えればわき役、渋いパイプリーチャー的な感じ。コシヒカリも福井で生まれたのにいつの間にか有名になったのは魚沼産、完全に新潟県にかっさらわれた感じ。あと少し、ちょっとのところが押しが弱いというか、欲が無いというか。これもまあ福井的だと言えます。

こんな地域で生産されるマシニングセンタやハイブリッド金属3Dプリンタ、モノは真面目に丁寧で作っております。お客様には、是非これを使ってどんどん稼いで貰いたい。そして、あなたの名パイプリーチャーになりたいと思う毎日です。

## 米国で開催されたシカゴショー IMTS2018 に出展

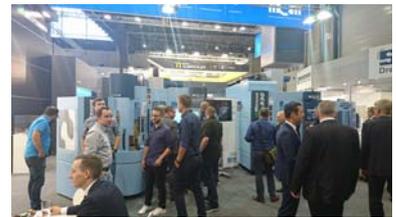
2018年9月10日(月)～15日(土)まで米国シカゴ市のマコーミック・プレス会場で、世界最大規模の工作機械見本市「第32回シカゴ国際工作機械見本市(IMTS2018)」が開催されました。工作機械、工具、周辺機器メーカーなど世界各国より2,500社以上が出展。6日間で120,000人を超える入場者数がありました。米国の失業率は2000年以降で最も低く、深刻な人手不足にあります。その対応策としてロボットを含めてシステム化による効率化提案が多く展示され注目を集めていました。

マツウラはハイブリッド金属3Dプリンタ**LUMEX Avance-25**と7機種の最先端マシニングセンタとを出展致しました。5軸制御立形マシニングセンタ**MX-330 PC10**、**MX-520 PC4**、**MX-850**、**MAM72-35V**。ハイプレジジョンリアモータマシン**LF-160**。横形マシニングセンタ**H.Plus-400 PC12**。立形マシニングセンタ**VX-660**を出展。マツウラブースでは連日活気溢れた商談が行われていました。



## ドイツで開催された AIRTEC2018 に出展

2018年10月9日(火)～11日(木)までドイツ・シュトゥットガルト市のメッセ会場でAIRTEC2018が開催され、マツウラから5軸制御立形マシニングセンタ**MX-330 PC10**、**MX-520 PC4**を出展しました。AIRTEC2018は、航空宇宙産業に関する様々な工作機械や3Dプリンタなどが出展され、欧州に航空宇宙産業の技術が一堂に会する展示会です。



## お知らせ

### 1 辞令発令(9月1日付)

松浦 悠人 経営企画室 副室長

### 2 サウルコス福井が北信越フットボールリーグ1部優勝

マツウラがユニフォームスポンサー(背面)である北信越フットボールリーグ1部で活動するサウルコス福井が12勝2分の成績で2期連続6度目のリーグ優勝を勝ち取りました。この優勝により11月に行われる全国地域チャンピオンリーグ2018の出場権を得ました。この大会で1位または2位で悲願のJFL昇格となります。応援の程宜しくお願い致します。

#### 【全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2018】

- 一次ラウンド 11/9(金)～11/11(日)  
会場：北海道函館市/岐阜県岐阜市/島根県松江市のいずれか
- 決勝ラウンド 11/21(水)～11/25(日)  
会場：ゼットエーオリブスタジアム(千葉県市原市)

### 3 福井しあわせ元気国体で福井県サッカー成年男子が優勝

9月29日(土)から開催された福井国体の福井県サッカー成年男子チームはサウルコス福井の選手で構成され、マツウラで働く石塚功志選手も福井県代表メンバーとして出場しました。10月3日(水)に行われた決勝戦でも石塚選手はフル出場して東京都に2対0で勝利し、福井県として初の優勝を勝ち取りました。



▲北信越フットボールリーグ1部優勝を喜ぶ選手とサポーター



▲国体の優勝を喜ぶ選手とサポーター

## 本号の書き終わり

\* 日本工作機械工業会から8月度の受注状況が発表されました。8月度の工作機械受注額は前月比7.1%減の1,403億円となり、3ヵ月ぶりに1,500億円を下回りましたが、依然高水準の受注が持続しています。内需は623億円と前月比7.5%減ですが、

6ヵ月連続で600億円を超えました。外需は780億円と前月比4.6%減です。北米は7ヵ月連続で250億円を上回り好調が続いています。しかし、アジアでは中国市場が18ヵ月ぶりに350億円を下回りました。

\* 7月21日(土)、22日(日)に来年入社予定学生12名を対象に研修会を行いました。その中で、レゴブロックを

使った「レゴシリアスプレイ」の研修を実施しました。対面して語るのではなく、製作されたレゴブロックを通じて自身を語ることで、参加者はスムーズに言葉が出て、相互信頼を培えました。またレゴはオランダに本社があり、金型製作に当社のマシニングセンタも使われているので参加者はマツウラのグローバルも体感していました。

経営企画室 上村 誠